

鶴島にて

赤波江 豊神父

去る10月12日岡山教会（広島教区）主催の鶴島巡礼に、住吉教会の信者数名と参加した。今年は長崎教区の信者約50名も含め総勢約200名、鶴島は岡山県日生（ひなせ）の沖合に浮かぶキリシタン殉教の島だ。

教会を朝7時30分に出て、日生港に着いたのは9時頃。日生は漁港らしく、たくさんの漁船が停泊して魚のおいが漂い、また、おこぼれの魚をめあてにたくさんのカモメが飛びかっている。私はこういう所に来ると妙に心が浮き立つ。

一行はチャーター船に乗船して鶴島を目指す。船は左手に鹿久居島、右手に頭島を見ながら進む。鹿久居島には別荘と思われる家が点在しているが、なぜか別荘はみな一様に茶色い。潮風から守るための塗料のせいなのだろうか。瀬戸内海の海はおだやかだ。甲板に出て潮風をあびると気持ちがいい。日生を出て25分位で鶴島に着いた。

鶴島は日生では一番小さな島で現在無人島。住んでいるのはウサギやキジぐらい。一行は廃屋の横を通って坂道を少し登る。無人島だが道はきれいに草が刈ってある。100年前長崎のキリシタンたちもこの道を通って苦役につかされたのだろう。10分ほど行くと小さな記念碑がある。見ると、太平洋戦争の時撃墜された米軍の飛行士の遺体がこの島に漂着したが、それをここに住んでいたおばあさんがねんごろに葬って供養していたらしい。それがいつか新聞でとりあげられて、遺骨はやがて本国に帰り、米国大使から感謝状が贈られた、という内容だった。

右手に海を見ながらなおも10分ほど歩くとキリシタン墓地に着いた。墓と言っても自然石を置いただけのもので、他に誰が置いたか白い聖母像と簡素な十字架、それに記念碑だけだ。この記念碑に亡くなった人たち18人の名前と年齢が刻みこまれている。一番若い子で5才、最高齢は62才。



明治初年のいわゆる浦上四番崩れという迫害で、長崎浦上のキリシタン 3380 名は全国に流刑された。その中で本原郷平辻の信者 117 名が明治 2 年 12 月岡山に流刑された。彼らはまず松寿寺に約 10 ヶ月閉じ込められ拷問の末、この島に移され狭い長屋にすし詰めに住まわされて開拓に従事させられたが、空腹と拷問のため半数以上が教えを捨てたらしい。明治 6 年に禁教令が解かれたが、それまでに 18 名がここで命を献げた。

墓地でミサをささげる。ミサを司式した長崎教区の小島神父は「迫害のために棄教して少しの自由を得た人、信仰を守り通して浦上に帰ることの出来た人たちのあいだには、恨みや心の葛藤（かっとう）があったに違いないが、私たちは子の先祖を大切にし、信仰の道を歩もう」と語り参列者を励ました。

午後 1 時、またいつかここに来ることを約束して、墓地を去る。帰りの船を待つ間、海岸でひととき童心に帰って小さなカニと遊ぶ。あまりいじくってたらカニにツメで指を挟まれた。まわりには小さな貝（ミル貝とか言うらしい）や海草を集めている人もいる。

日生港に戻った後、魚市場で買物。とれたばかりのタコ、アナゴ、エビ、ナマコ、スズキ等が所狭しと並んでいる。よく見るとまだ生きているタコが籠から出て逃亡をくわだてようと通路にはいつくばっている。そばで売り子のおばさんたちが、さかんに攻勢をかけてくる。ついつられていくつか買ってしまう。そばにいた人には、これは地域経済の活性化のためだといひ訳をする。午後 3 時に日生を出て教会に着いたのは 6 時。翌日、鶴島の海岸で小さな貝を採った人が、それを塩ゆでにして持ってきてくれた。小さな島の小さな貝だ。それをつまようじでつついて口に入れた。ほんのりと鶴島の味がした。

沖の小島の流人墓地
おぐらき墓のむきむきに
ともしき花の紅は
たれが手向けし山つつじ

(鶴島の記念碑に刻まれた三好達治の歌)



2009年10月度評議会 議事録

日時： 2009年10月4日(日) 11:00～14:00

場所： 第二会議室

出席者： 赤波江神父・評議会委員14名

黒田議長より今月度は9/20評議会で残された下記テーマを検討する旨の説明がありました。

1. 至近的な行事と委員会の報告
2. 各チームの近況報告と今後の展望と問題点

議題

1. はじめの祈り 赤波江神父様
2. 司祭のお話 赤波江神父様

昨日「つながり」が印刷されましたがその中に私の文章があります。先日神戸地区の広報委員の方が来られて今後の方針についてインタビューを受けました。この地区への思いをまた同時に住吉教会への思いでもあります神戸地区に対する“年間のテーマについて”副題として～福音的芽生えを育てる為に～を読んでもみます。

[要略]

今教会がかかえている問題として、司祭の減少、信徒の高齢化、教会維持費の減少などが上げられますが、多くの困難な問題からの解決は、福音的視点から見る必要があります。即ち神が世界を創造されたとき「神はこれを見て良しとされた」(創世記1章)という様に教会は歴史と共に変化し続け、時代の要請に副わなくなれば衰退、消滅します。

古いものが過ぎ去ると同時にいつでも新しい生き方を求める福音的芽生えが生まれ続けています。大切なことは、共同体の困難なことだけに問題点を指摘するよりも、福音的芽生えにもっと目を向け育てることこそ、豊かなものに成長し、様々な問題の解決も自ずと見えてくるものです。人の中に悪でなく善を見ること、責任のなすりあい、愚痴、不平、不満、攻撃でなく、よろこびと協力でもって明るく生きることで解決の糸口が見つかります。

司祭の減少には新しい奉仕職を生み出し、信徒の高齢化に新しい使命感、維持費の減少は教会に新しい協力のあり方をもたらすことでしょう。この福音的芽生えを育てるために私たちは共通の認識を持つことが必要です。

その一つが“神戸地区で年間のテーマを持つ”ことにより、将来の問題点という言い方は、将来の希望という言い方に改められるでしょう。

議事

1. 至近の行事について(報告含む)

10月4日から維持費箱、堂内献金筆との区別実施

セニョール・デ・ロス・ミラグロス

- ・ 期日 2009年10月25日
- ・ バイリンガルミサ スペイン語、日本語
- ・ 行進 - 教会、幼稚園園庭

- ・ 懇親会 - 場所 芦屋 (*スペイン語ミサ、新型インフルエンザ感染予防対策)
- ・ 御絵を聖堂内の祭壇横に置く
- ・ お祝い金を送る。

住吉教会バザー ・ 実行委員長 指名 (議長提案と承認)

- ・ ミサからバザーが始まる (9:30 主日のミサに全員があずかり、その後バザー開始)
- ・ 幼稚園教室の借用申込み
- ・ 幼稚園教室の机・椅子の数を 10 月 11 日までに申し込む
- ・ 食券の販売 10 月 11 日
- ・ 食券

タイカレー	50 食	¥400.-	普通カレー	50 食	¥300.-
ぜんざい	60 食	¥200.-	寿し	70 食	¥400.-
やきそば	150 食	¥300.-			
- ・ 司祭執務室を救護室として借りる

2.各チームの近況報告

司牧チーム

- ・ 祈年祭 案内状は 9 月に発送済み
 - 毎日のミサが来次第 式次第を作成予定
 - 郵送の返信による参加者 50 名予定
 - ミサ後茶話会 クッキーを用意・A 地区準備担当
- ・ 祈念堂 (納骨堂) 管理の今後の方針、共同墓地の是非を継続検討する。
 - 管理費・・・郵送費、クッキー、小冊子に使用。
- ・ 祈年祭 (死者の日) で亡くなられた人への祈祷申込みを受付ける。
- ・ 地区家庭集会
 - お茶代費用は参加者の 1 コイン(この場合は¥100.-)を目安とする

典礼チーム

- ・ ミサ前の口ザリオの祈り (主管は典礼)
 - ミサが始まる前の沈黙を守り、静かにミサに与る心構えを忘れないこと。
 - 9:00 から 一環 (20 分)
 - 10 月はレジオが先唱するが 11 月からは受付担当地区の一名が行う。
- ・ 七五三お祝いミサ
 - 今年は電話をかけないで希望者の申込みを受付ける

神戸地区宣教司牧評議会

大阪大司教区で、地区代表者会議を 教区宣教司牧評議会への移行を検討中。
 評議員選出方法について、小教区方針決定は議長に一任する。(承認)

病者訪問聖体奉仕者養成研修 7/18 9/12 に続き 2/11 2/13 の計 4 回必要
 集会祭儀司式者リフレッシュ研修 11 月 3 日(火)全員参加必要。於 六甲教会
 以上

社会活動チーム

社会活動チーム長

住吉教会内外の活動の窓口 橋渡しとしての役割です。

1. 救援募金

カリタスジャパン シナピス大阪等からの要請を受けて適時実施しています。

2. 古切手 使用済みカードの回収

バスや電車のカードではなく 絵柄の綺麗なカードをお願いします。

3. 野宿者支援

中央教会に置かれている社会活動センターからの指示を受けながらの活動です
一時減る傾向にあったのですが、昨年の派遣切りにより20代から40代の野宿者
生活支援者が増えているそうです。

・炊き出し

週3回行われていますが、住吉教会は毎月第1土曜日と決められています。
9時40分に車で教会を出て 中央区の小野浜グラウンド横で約150～200
人分の豚汁を作ります。野菜たっぷりなのでとても好評です。12時から配食
し1時頃には終わります。

片道だけでも車を出してくださる方 お子様連れ お料理苦手の男性でも
一度だけでも、とにかくいらしてみてください お待ちしています。

・夜回り

毎週水曜日の夜 野宿者を訪問して機会に応じて生活相談をしています。
又年に1度神戸市全区の一斉夜回りを行い人数確認調査もしています。

・講演会 コンサートのお手伝い

4. 障害者支援

・講演会のお手伝い

・カード ハガキの販売協力

5. 外国航路の船員支援

毛糸の手編みの帽子を毎年130枚以上お渡しして喜ばれています。

いつまでに仕上げなければという事がなく いつでもいただければありがたいの
でお手伝いしていただける方はお声をかけてください。

以上のような活動ですが 住吉教会のお一人お一人が 社会活動のお仲間だと
思っていますので 今後ともご協力をお願いします。

定例会は毎月第2日曜日11時から12時までです 一度のぞいてみてください。

社会活動チームは種々の働きがありますが、「炊き出し」は大きな奉仕です。住吉信徒の皆様も一度はご参加
下さい(議長)

*お知らせ

1、10月18日(日)にバザーが行われました。皆様の積極的な働きのおかげで、楽しく盛会裡に終了しました。みんなが一丸となって参加し、ふれあいの輪が広がったことが何より喜ばしいことでした。 武田バザー実行委員長からの報告です。

今年の住吉教会バザーは 10月18日(日)晴天の下開催されました。

9:30のミサに始まり バザー会場は11:00にオープンしました。

教会内ホールは 喫茶とお寿司売り場 園田聖パウロ女子修道会シスターのホーリーショップ。喫茶は ホールが明るいのでイタリアンカラーにして テーブルは白と赤のクロスの上にグリーンの布をのせました。美味しいコーヒーに手作りのケーキセット、グレープフルーツのゼリー、紅茶・ハーブティーは おかわり自由です。

その外では教会学校の生徒達が輪投げゲームをしてにぎわっていました。

奥の会議室2部屋は落ち着いた雰囲気です。昨年来好評の 赤波江神父様直伝のタイカレーと恒例のビーフカレー。そして小豆がふっくらして美味しい白玉ぜんざいの部屋です。

幼稚園園庭は焼き鳥と焼きそば。例年のごとく男性陣が慣れた手つきでくしに刺した鶏を焼き盛り上がっていました。舟形に入ったソース焼きそばは味・量ともに満足で150食が売れました。

幼稚園教室には リサイクルショップ・雑貨・手芸のお店が入りました。手芸のコーナーには短期間がんばって作ったパッチワークの小物・暖かい毛糸のアームカバー・色々なデザインのエプロン・アクリルたわしなど。どのコーナーもお求めやすいお値段にしたため 子供達もお小づかいを手に ゆっくり買い物が出来ました。

インフルエンザの流行っている時期でしたので開催が危ぶまれましたが 何の影響もなく幼稚園の卒園生親子も久しぶりの再会を喜び合う みんなの心がひとつにとけあった楽しい一日でした。

3時には 残っている者皆でおつかれさまのキャンパイをして終了となりました。

焼き鳥 800本完売しました。

(炭焼きですが網ではなく 鉄板を使用そのほうが焦げなくこんがり焼けました。)

焼きそば、美味しかった、器のふね(木の薄い板)これも良かった。

雑貨売り場、賑わいあり、掘り出し物を探す方もおられ楽しそう

喫茶のかわいらしいメイドさんたちが配膳

人気のタイカレー、恒例のカレー、おぜんざい 好評でした。

バザー実行委員長、副実行委員長はじめ皆様全員のご協力本当に有難うございました。収益金の配分は評議会で検討し、決定します。(議長)

- 2、10月24日(土)10:00~ 結婚式が赤波江神父様の司式で行われました。聖歌隊はじめ信徒の皆様も沢山出席して祝福し、素晴らしい結婚式でした。お二人のご多幸をお祈りします、おめでとうございました。
- 3、10月25日(日)セニョール・デ・ロス・ミラグロスのバイリンガルミサが行われ、引続き教会内を聖行列が行進しました。スペイン語圏の信徒が多数出席しました。その後芦屋浜センターでパーティーが行われ、賑やかな一日となりました。住吉信徒の皆様も国際協力の催しに今後もっと交わりを深めて行きましょう。
- 4、11月23日(月・祝)13:00~ 「晴佐久神父 講演会」(神戸地区養成委員会主催)
会場 カトリック神戸中央教会 (無料)
尚、当日は混雑が予想されるため、「入場整理券」を発行しています。
当日出席予定で整理券が必要です。(黒田)
- 5、11月11日(水)A地区家庭集会があります。皆様ご参加下さい。

6、11月29日(日)待降節第1主日に、山中大樹神父様(イエズス会)のご指導で待降節黙想会があります。祈りの内に主のご降誕を待ちましょう。

7、神戸バイブルハウスからのお知らせ

11月13日(日)11:00~15:00 バイブルハウス バザー

- ・ 例年通り、当日の皆様の雑貨売り場のお手伝いをよろしく申し上げます。
- ・ バザーへのご寄付や販売用の商品のご提供をよろしく申し上げます。

11月29日(日)14:00~ 「Sr. 渡辺 和子 教育講演会」

テーマ・「心の教育と親の役割」 前売り券1,000円(学生800円)

会場・海星女子学院・講堂 (車の駐車場はありません。ご注意下さい)

小さなお子様をお持ちのお母様からあらゆる年齢の方々まで、心をうたれる素晴らしい講演です。皆様この機会にぜひ聴講してください。

チケットが必要です(黒田)

講師プロフィール・1927年2月北海道旭川市生まれ。教育総監(陸軍大将)・渡辺錠太郎氏の次女。

9歳の時に2・26事件で父を目の前で殺害され、大きな衝撃を受ける。18歳でカトリックの洗礼を受け、聖心女子大学から上智大学大学院修了。アメリカボストンに留学、36歳という異例の若さで岡山県のノートルダム清心女子大学の学長に就任。現在理事長。1984年にマザー・テレサ来日の際は通訳を務める。

12月5日(土)11:00~14:00 「バイブルハウス 09 クリスマスランチョン」

挨拶・池長大司教、

Part 礼拝・中村豊主教(聖公会神戸教区主教) クリスマスメッセージ・オマリー神父、

Part ピアノ&ボーカル 藤本千晶(カトリック鈴蘭台教会)

会場・神戸バイブルハウス

参加費・1,500円/一人(当日2,000円)(含むランチ)

以上